

学校番号	44	キラリ高等学校	課程	通信制	記載者	教頭 岩ヶ谷佐知子						A：よくできた B：だいたいできた C：不十分だった D：ほとんどできなかった				
今年度の重点目標（学校経営目標）		具体的取り組み計画				総合	吉田	浜松	静岡	沼津	グラフ				学校関係者評価委員 意見	
1	静岡県に認可された狭域通信制高校として様々なニーズに対応するために、総合的な教育力をより一層向上させる。	<p>①基礎学力の確実な定着を図るため、各教科担当間のコミュニケーション量を増やし情報共有をとした上でより分かりやすい授業を展開する。生徒・保護者面談を通し、主体的に学習に取り組むよう導く。</p> <p>②学校内はもとより校外での生活指導も継続して実践・強化し、基本的な社会性・モラル・社会通念上の規範意識の徹底を図る。</p> <p>③遠足・修学旅行・文化祭・体育祭などの特別活動や校外スクーリングをより充実させ、多くの生徒が積極的に関わられるようにする。</p> <p>④進路選択において必要な基本的知識・技能を育成し、進路決定を自ら推進できるように導く。</p>	A	BA	AAA	AA	AA	<p>設問1 重点目標「静岡県に唯一認可された狭域、約な教育力をより一層向上させる」に対する評価 9件の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が熱心に指導してくださっているのが伝わります。修学旅行に関しては、先着順であつという間に締め切りになってしまい、行きたくても行けなかった子がいて残念でした。 中学まで不登校の子も多く、人間関係を上手く作れないことも考えられる。授業や行事の中で先生方や同級生、上級生との活動はとても大切。自分を認めてくれる人がいれば学業も頑張れると思うので、通信制であってもコミュニケーションを大切にしているのは良いと思う。 日頃からそれぞれの保護者や生徒に何が必要な支援かなど時味し、常に新たな取り組みをしようとする姿勢がある。それが、結果的に新たな取り組みに繋がりがり、その先の学習、イベント、進路などに繋がっていると感じている。カウンセリングの予約日を増やしたことで、利用者が増えたことは数字として成果が表れていると思う。 進路選択について、高校の先生と生徒との関わりがよくできていると感じます。 学生さん自身が自分たちで考え特別学習、イベントをされているのは、とても素晴らしいとおもいました。また、面談など通して、それぞれにあった学習計画や、支援計画をされているということこそ、個人的なサポートができていて、素晴らしいと感じました。 様々なニーズに対応できるように、いろいろな面でサポートして貰えていると思います。課題としてあげられている、卒業後の進学や就職が思った様に行かなかった卒業生もいる様なのでなかなか難しい問題ですが1人1人が自信を持って自分らしく学生生活や職場で活躍して貰える卒業生が多くなれば私は嬉しいと思います。 授業がわかりやすいと娘から聞いていて、中学生活で学べなかった分、不安がりましたが、レポートの解説もしっかりとされていて、期末試験でも高得点を取ってくるようになって嬉しく思っていました。文化祭の実行委員をしたり、オープンキャンパスのスタッフとして活躍していて嬉しいと思いました。 教科担当の先生にわからないところを質問しやすい環境のようです。スクーリング時に進路についての資料や情報を提供していただいたり、進学先の先生とzoomを使用して交流を図ることができ、オープンキャンパス参加につながりました。遠足や校外学習は、遠方や近場、いろいろなバリエーションがあり、前回は不参加でも今回は参加しようと思えるように考えてくださっていると思いました。 生徒とのコミュニケーションを取りながら、友達作りのなどの各イベントは素晴らしいと思いました。 							
2	生徒一人一人の個性を伸ばし、より細やかな指導を行う。	<p>①困難を有する多様な生徒（不登校傾向・問題行動・発達障害等）が積極的かつ十分な教育を受けられるように、学習に対する動機付けや学びの意欲を喚起できる教員の育成（スクールカウンセラーの活用）</p> <p>②個別対応、部活動、キャリア教育、インターンシップなどの分野に十分に対応できる教員を育成する。専門の機関（企業）の協力を進める。</p> <p>③各校舎・教科単位での内部研修を実施し、キラリ高校の職員としての共通認識の上で、教職員の組織化を推進する。また外部研修を活用して多様な困難を有する生徒に対する支援強化を行い、各教職員の指導力・対応力を向上させる。（県および私学協会主催の研修に積極参加）</p> <p>④未履修・休学中の生徒やその保護者へのアプローチを継続して行い、再履修および復学を促す活動をする。家庭訪問の計画的実施を行う。</p>	A	AA	AAB	AA	AA	<p>設問2 重点目標「生徒一人一人の個性を伸ばし、より細やかな指導を行う。」に対する評価 9件の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりを細かくい点まで目を配り、気を配ってくださっているのを感じます。 発達障害と不登校は切っても切れない関係だと思う。障害の程度や本人の受け入れ方でも自己肯定感は変わってくるので、カウンセラーさんの存在は意義が高い。先生方の負担も少し減ると思う。診断がついている子には、特性に配慮した指導をお願いしたい。 子どもの苦手を理解しつつ、少し頑張れば出来そうなことを適切なタイミングで提案し、生徒の自信となる指導を行ってくださっている。 状況に応じて授業スタイルが変えられていて良いと思います。 個人の抱える問題が多様化しており、支援する側の意識や知識向上が随時必要となり、大変なことだろうと考えられる。先生たちが、時間内で、外部研修など必須となるとおもいます。その中でも、不登校で学校へ来れない生徒さんへのアプローチなどは、随時考えていく必要があるため、情報をアップデートしていく必要があると思います。 生徒だけでなく、学校で保護者同士の希望参加での話し合いの場も作って頂いたのも私はすごくいいと思います。なかなか保護者同士で子供の悩みや心配事、逆に良かった事を聞く機会があまり無いので実際に参加された方は気持ち的に全然違うと思います。 スクールカウンセラーを使用しなくても、担任の先生が積極的に子供へ声をかけてくださり、担任の先生以外にも気にかけて下さり、素敵な学校だと思いました。 スクールカウンセラーをまだ活用したことはありませんが、必要な時に利用できる体制があると感じています。生徒と先生との距離感が近く、学校以外のアルバイトの話や相談にのってもらったりもしてくださるようです。 一人一人の個性を伸ばし細やかな指導を今でも続けてくださっている事、保護者の皆様安心してると思いました。 							
3	技能連携教育施設（スクーリング会場）のカリキュラム（コース）の改編を推進し、通学タイプの充実を図る。	<p>①より多くの生徒が通学タイプの全日スタイルを選択しやすいように、コース内容の再編を図り、魅力あふれる内容の転機を目指す。</p> <p>②①を推進するために、各スクーリング会場ごとにコース担当を決め、会議を行い、コース内容の検討・充実を図る。</p> <p>③他会場との連携および意見交換を積極的に行い、より精密に個々の生徒へ対応する。また昨年度の課題であった授業研修を本格化させる。</p>	A	BB	AAA	AA	AB	<p>設問3 重点目標「技能連携教育施設（スクーリング会場）の充実を図る。」に対する評価 9件の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> 吉田本校なので、他校舎についてはわからない 学びたいという欲求を満たすことは大切だが、週5来れる子ばかりではないし、将来疲れたら休んでいいというゆとりも大切にしながら、スクーリングをすすめていただきたい。 息子が全日スタイルへ移行する時は親として不安もあつたが、本人も自分に合ったコースを選択でき、そこで目標も持ちながら意欲的に通うことができている。 教頭先生からのお話にもあつたように、新しい取り組みが増やされていていいと思いました。 先生たちの情報共有ができており、素晴らしいとおもう。 子供がアニメイラストコースに通っています。実際に他会場のアニメイラストコースの生徒達と美術館に行ったり、共同での冊子を作ったりと楽しそうです。コースは基本的に1つだけ通うと思うのですが、他のコースの楽しそうな話を聞いたりして生徒にすごくいい体験をさせて貰えるんだと思いました。また、進学に向けて勉強面で不安がある為、基礎学習コースも掛け持ちで通えたらなあ〜と話した時もありました。このまま、より多くの生徒が楽しく全日スタイルで学べたらと思います。 静岡のコースはとても充実していて、娘は情報教育コースで沼山の検定を取得しました。卒業してからも高校生活で身についた資格を武器としているようで安心しています。 入学時はスリーデーでしたが、コースの体験授業を受け全日スタイルに変更しました。進学を視野に入れて今の学習について考えることができたり、将来的に週5動ける体づくりについてのお話から自ら努力していこうという積極性が見られました。検定にも取り組み、取得することで自信にもつながっています。 通信とはいえ、まだまだ行けない子達もいる方思います。難しいとは本当だと思います。でもすこしでも、高校卒業できるコースがあつたら子供達との自信に繋がるのかと、 							
4	吉田本校の整備・拡充	<p>①定着しつつある、週3日の平日スクーリング（ウイークリースタイル）を継続して実施し、部活動、キャリアデザイン、インターンシップ、ボランティア等、様々な活動を通じ高校生活の充実を図る。</p> <p>②生徒の社会性を高めるために各種イベントを企画することで、様々なニーズに合わせた学校生活の充実を図る。</p>	A	AA	AAB	BA	AA	<p>設問4 重点目標「吉田本校の整備・拡充」に対する評価 9件の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭やクリスマス会など、生徒が楽しんで計画、参加できるようにしてくださって、とても良かったです。 長続きの秘訣は、困っていることを相談できる人がいる、自分の力を信じて応援してくれる人がいる、ということだと思う。いろいろやってみて振り返った時に、見えてくれる先生方がいるからこそ、8割のスクーリング率なのだと思う。 特になし 変わらず活気のある学校であつてほしいと思います。 多くの地域で、不登校児のサポートができるのは、良いと思います 学年問わず交流が生まれていて活気があるとありすごく良い事だと思います。 静岡の校舎でしか通ったことがないので、分かりません。 元々自分と友人との距離感が近付くことが苦手なタイプのため、特別活動やイベントへの参加はあまりありませんが、昨年、文化祭実行委員をやってみたいという気持ちで芽生え、無事やりきることができました。他年齢の生徒の交流もあり、貴重な体験になりました。毎週ある奉仕活動（校内清掃）には、できる限り参加しているようです。部活動などに参加されている生徒さんたちの功績を知り、とても素晴らしいと感じました。 特になし 							
5	I C T教育及び校務システムの整備事業	<p>①レポート（添削指導）のデジタル化への移行。</p> <p>②校務支援システムに関して、生徒増に対応すべくさらなる業務の効率化を図る為、システムの整備・拡充を図る。</p>	A	BA	AAB	BA	CA	<p>設問5 重点目標「I C T教育及び校務システムの整備事業」に対する評価 9件の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> レポートをスマホでやるようになり、親が把握しにくくなったように思います。社会に出てからは文字を書く機会も少なくないと思うので、漢字を忘れないよう、書く機会を作ってほしいです。 デジタル化にしても読字障害などだと大変そう。それでも書字障害の人にはデジタル化は重要。レポートも出しやすくなることだと思う。 今年度から大きく変わった部分であると思うが、多少のトラブルやエラーがありつつも素晴らしい取り組みであつたと思う。今後も定着させながら、生徒だけでなく、教員の負担の軽減に繋がっていくことを願っている。 時代の流れに合わせ、デジタルを取り入れる取り組みはとてもいいと思います。 先生たちの負担が軽減されると良いと感じる。 レポート提出のサーバーが混んで繋がらない事も多かつたのでどの時間帯でもスムーズに頂けると助かります。以前間に合ったのですが電子になってからレポート用紙がない為、実際に携帯などで開かないと分からず…教科の見落としがあつたりしたので個人でちゃんと把握しておかなければいけないと思います。 パソコンが新しくなつたと聞きました。レポートのデジタル化については、娘が卒業した後の話なので分かりませんが、学校へ行くことや外へ出ることが難しい生徒の為にもなると思います。 レポートが電子化されたことにより、先生が問題を読み上げるが手元に問題が書かれたものがなく把握できないなど、授業内容がわかりづらいうことがあつたようです。システム障害やエラーが多く一度入力したものが消えてしまつたり、国語の教科では文字の入力スペースが小さく苦戦したり、漢字の問題では変換すると答えが出てしまうので意味をなさないと感じることがあつたようです。 沼津高だけ、なぜ不十分な回答なのか…。昨年度と同じ取り組みや、新たな活動も導入されており、また在籍している保護者の方からのお話も聞け、改めてキラリ高等学校の卒業ができ本当に良かったと思つております。 							